

2017年4月 博士後期課程開設

看護学9年間の教育体制を構築

看護学研究科博士後期課程では、看護学の理論的な根拠を探求しつつ高度な専門的知識を発展させ、看護研究の視点をもつ教育・研究者及び看護実践・看護管理スペシャリストを育成し、あらたな看護学における知の創造を担う人材育成の拠点を目指しています。また、本学は学士課程・修士課程・博士後期課程までの高等看護学教育における9年間の総合的かつ一貫性のある教育システムを構築します

アドミッション・ポリシー

- ① 看護学の各専攻分野の専門的な知識や技術を有する者
- ② 看護学教育及び看護教育の発展に貢献する意欲のある者
- ③ 看護ケアの質の向上や看護ケアの改革・開発に貢献する意欲のある者

看護学研究科 博士後期課程 概要

- 名称 : 看護学研究科看護学専攻博士後期課程
- 開設時期 : 2017年4月
- 入学定員 : 3名
- 学位 : 博士(看護学)
- 修業年限 : 3年(長期履修制度あり)
- 開講形態 : 社会人の方は、仕事との両立をはかれるように夜間や土曜日、その他特定の時期等に教育・研究指導を受けることができます。



教育目標

高度の専門性が求められる看護実践において、高い学識と倫理観をもって、人々の健康ニーズに対応できる高度な看護専門性と、看護学における理論構築に向けて自立して研究活動が推進できる研究能力及び教育能力を有し、看護学の発展に寄与できる人材を育成することを目的としています。なお、本学の修了生は看護系大学、看護教育機関や看護研究所の教育・研究者、行政機関や看護実践機関の看護管理者及び高度看護実践者等としての活躍が期待されます。



カリキュラムの特色

博士後期課程のカリキュラムは、共通基盤科目が「包括ケア看護特論」「看護科学研究特論」「看護学教育特論」の3科目であり、必修です。専門科目は、「地域・在宅看護学」「学校保健看護学」「育成発達看護学」「成人・老人療養看護学」に「特論」「特別演習」「看護学特別研究」を配置しており、いずれかの領域を選択した上で、専攻する領域の「特論」「特別演習」「看護学特別研究」を履修します。「看護学特別研究」では、各自が専攻する特論・特別演習をふまえて、研究対象となる看護の質保証を重視して専門性の高い看護を行うための科学的な知見を明らかにします。看護の現象・事象をよりとらえやすい諸要素に分析し、それらの要素間にどのような関連があるのかについて枠組みを明確化した上で、看護実践に有効な研究開発について指導し、博士論文を作成します。

科目区分		授業科目の名称	単位数		
			必修	選択	
共通基盤科目		包括ケア看護特論	2		
		看護科学研究特論	2		
		看護学教育特論	2		
専門科目	広域看護学分野	地域・在宅看護学領域	地域・在宅看護学特論		2
			地域・在宅看護学特別演習		2
		学校保健看護学領域	学校保健看護学特論	-	2
			学校保健看護学特別演習	-	2
	臨床看護学分野	育成発達看護学領域	育成発達看護学特論		2
			育成発達看護学特別演習		2
		成人・老人療養看護学領域	成人・老人療養看護学特論		2
			成人・老人療養看護学特別演習		2
	看護学特別研究	地域・在宅看護学特別研究		6	
		学校保健看護学特別研究		6	
		育成発達看護学特別研究		6	
		成人・老人療養看護学特別研究		6	
合計(15科目)			6	40	

卒業要件及び履修方法：共通基盤科目の必修6単位、専門科目から専攻する領域の特論2単位及び特別演習2単位、看護学特別研究を6単位、合計16単位以上を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること

看護学特別研究の概要と指導教員

科目	概要	研究指導教員
地域・在宅看護学特別研究	地域・在宅看護学では、在宅療養する者を含めて地域で生活する人々の健康保持、疾病予防、介護予防等の健康課題について、包括的視点から看護の実践科学に基づいた研究手法を用いて、看護ケア・看護サービス・ケアシステムの改善・改革・開発を行い、人々の療養生活及び健康生活のQOLを向上できる看護理論構築に寄与できる博士論文を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ●教授 小野ミツ ●教授 小西美智子※ 教授 難波峰子 教授 原礼子※ 教授 阿部芳江
学校保健看護学特別研究	学校保健看護学では、学校生活における疾病・障がいがある子どもの健康課題について、包括的視点から学校保健看護の実践科学に基づいた研究手法を用いて、支援システムの構築やコーディネーションの開発を行い、子どもの学校生活の向上に寄与できる博士論文を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ●教授 津島ひろ江 教授 岡本啓子※ 准教授 中島敦子
育成発達看護学特別研究	育成発達看護学では、母性の一生および周産期あるいは健康障害のある子どもとその家族を対象として、母子保健、健康管理能力、養育支援等の健康課題について、包括的視点から看護の実践科学に基づいた研究手法を用いた博士論文を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ●教授 竹村淳子※ 教授 合田典子※
成人・老人療養看護学特別研究	成人・老人療養看護学では、対象者が医療施設における入院治療管理から外来及び在宅での自己管理とその確立に至るまでの諸課題について、包括的視点からその構築のため、看護行為に資する実践研究と看護ケア開発について指導し博士論文を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ●教授 森下利子※ ●教授 川西千恵美※ 教授 掛田崇寛 准教授 鈴木千絵子

●は主指導教員
※2017年4月就任予定

履行・研究指導方法

- ① 指導教員は、院生の進路や課題意識に配慮して履修を指導します。
- ② 指導教員は、研究課題の決定、研究結果のまとめと発表、論文作成について、責任をもって指導します。
- ③ 研究指導の実施にあたっては、院生個々人の臨床経験、修了後の進路を勘案しながら、院生の主体的な学びに重点を置きます。

長期履修制度

修業年限3年間を、4年間を限度として延長することができます。この場合の授業料は、3年間分となります。

研究生制度、科目等履修制度

研究生制度、科目等履修生度があります。詳細は、本学入試センター(0791-46-2500)までお問い合わせください。



学費

入学金 (初年度のみ)	授業料	教育充実費等	学費合計
240,000円	700,000円	200,000円	900,000円

※授業料・教育充実費は分割納入(2分割)が可能です。また、その他諸費(5,000円程度)が別途入学後必要です。

入試概要

詳細は、9月下旬発行の「学生募集要項」でご確認ください。

■ 募集人員・取得学位

	修業年限	募集人員	取得学位
博士後期課程	3年	3名	博士(看護学)

■ 試験科目・配点

	試験科目	配点
博士後期課程	英語	50点
	小論文 ※看護学教育研究に関連した小論文課題	50点
	口頭試問(研究計画等のプレゼンテーション含む)	100点

上記の試験結果と出願書類(研究計画書等)の内容を総合的に審査して選抜を行う

■ 試験日程

		I 期	II 期	
博士 後期 課程	出願期間	2016年10月20日(木) ～11月4日(金) 消印有効	2017年1月5日(木) ～1月20日(金) 消印有効	
		試験日	2016年11月19日(土)	2017年2月4日(土)
		合格発表日	2016年11月26日(土)	2017年2月11日(土)
	入学 手続 期間	1次	2016年11月28日(月) ～12月9日(金)	2017年2月13日(月) ～2月24日(金) 消印有効
			2次	2017年3月1日(水) ～3月24日(金) 消印有効